

事務事業名		建設改良に伴う施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																											
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目																											
	施策名	20 良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 款 項 目 事業																											
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和29 年度～)		水道 01 01 01																											
根拠法令		水道法		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成14 年度～平成32 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分																											
所属	部課名	水道事業所		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																													
	課長名	千葉 洋一																															
	係名	工務給水係	電話					0192-27-3111																									
	担当者	今野 稔	内線					176																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																													
水道水の安定した供給を図るため、既設の配水管等について、老朽化に伴う布設替えや道路改良工事等により支障となる配水管等の布設替えを行う。また、既存33施設の機械・電気・計装設備等の更新を行う。 事業費は、工事請負費、測量・設計委託料、用地・補償費等である。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="3">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																															
		都道府県支出金																															
		地方債																															
	その他																																
	一般財源																																
	事業費計(A)	0																															
	人件費	正規職員従事人数																															
	延べ業務時間																																
	人件費計(B)	0																															
	トータルコスト(A)+(B)	0																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
配水管布設替工事 5件、ろ過池改修工事 1件		ア	水道管布設替延長
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	水道設備更新・改修工事件数
ろ過池改修工事 1件、配水管布設替工事 6件		ウ	
機械・電気・計装設備更新工事 1件			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
水道施設		名称	
		単位	
		カ	導・送・配水管の総延長
		キ	水道施設数
		ク	老朽管等による水質苦情件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
配水管の布設替え及び水道設備を更新し機能強化を図る。		名称	
		単位	
		サ	有効率
		シ	有収率
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安全な水道水が安定して供給される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			5,047	18,357		
		地方債	千円	115,300	113,500	229,300	206,200	70,400	
		その他	千円	23,490	4,884		839		
		一般財源	千円	86,464	46,134	56,851	7,017	36,600	
	事業費計(A)	千円	225,254	164,518	291,198	232,413	107,000	261,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	2,240	2,240	2,500	2,500	2,350	2,350
		人件費計(B)	千円	8,960	8,960	10,000	10,000	9,400	9,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	234,214	173,478	301,198	242,413	116,400	270,400
⑤活動指標		ア	m	2,512	2,435	741	556	700	2,000
	イ	件	5	6	7	13	6	5	
⑥対象指標	カ	m	273,000	277,638	278,819	280,898	286,200	287,200	
	キ	施設	36	36	36	36	39	40	
	ク	件	2	1	0	0	0	0	
⑦成果指標	サ	%	81.4	85.6	85.7	81.7	87.3	88.4	
	シ	%	77.7	82.8	82.9	78.9	84.0	85.0	
	ス								

事務事業ID	0317	事務事業名	建設改良に伴う施設整備事業
--------	------	-------	---------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
昭和29年4月の上水道供用開始以来、水道施設の老朽化が進み、また、道路改良等に伴い水道管の布設替え工事が必要となったことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
水道施設の老朽化が進行しており、計画的な配水管の布設替え、設備更新等が急務である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
住民(水道使用者)から、老朽管等の更新の要望がある。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	水道施設を適切に維持管理することにより市民に安全な水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	水道は公営事業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	水道施設の機能強化及び更新を行うものであることから適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	事業の健全な経営を維持するため、計画的な整備が不可欠である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	市民に対し、安全な水道水の安定した供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	適正な管種・管径、機器等を選定しており、これ以上の事業費削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現状ではこれ以上の人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	最終的には水道料金に転嫁されており、適切である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 中期経営計画の進捗管理の徹底を図るとともに、費用対効果に留意し、将来を見据えた計画の見直しを検討する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	道路工事等に伴う配水管の布設替えは止むを得ない工事であり、事業担当課と工事内容を十分に調整するとともに、地域の理解を得ながら実施していく。 大規模事業が進行中であり、今後の財政状況を見ながら、水道料金への転嫁を検討していく。